

# シンポジウム 琵琶湖・淀川の水環境を考える

【琵琶湖・淀川の水が安全・安心であり続けるために】

## プログラム

- 13:30 開会挨拶  
■国土交通省近畿地方整備局 河川部長 谷本 光司
- 13:40 基調講演「琵琶湖・淀川の水環境の現況と将来」  
■宗宮 功 龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科教授・  
京都大学名誉教授
- 14:00 リレー講演
- ① 西野 麻知子 滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター総括研究員  
『いま琵琶湖の生物を守るためにすべきこと』
- ② 角野 康郎 神戸大学理学部生物学科教授  
『水生植物からみた琵琶湖・淀川の現状と課題』
- ③ 綾 史郎 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科教授  
『淀川における生態系の保全と復元』
- 休憩
- ④ 服部 和夫 大阪府水道部水質管理センター所長  
『水道事業からみた琵琶湖・淀川の課題』
- ⑤ 河村 賢二 国土交通省琵琶湖河川事務所長  
『琵琶湖・淀川流域圏再生について』
- ⑥ 田中 宏明 京都大学大学院工学研究科教授  
『新たに見え始めた日常生活からの水環境汚染』
- 16:10 休憩
- 16:25 参加者と講演者との意見交換  
■コーディネーター 宗宮 功
- 17:00 閉会

琵琶湖・淀川流域圏の  
再生

2007.2.23 [金]

13:30▶17:00 (受付) 13:00～  
京都リサーチパーク・バズホール

古来より、流域の洪水の防御、生活に欠かせない飲料水の供給、そして豊かな経済を支える工業用水の補給など、近畿地方の発展に貢献してきた琵琶湖・淀川水系の水環境は悪化の一途をたどり、現在も、外来生物等の大量繁殖など生態系に関する問題や、水質事故の発生、面源負荷汚染の増加、微量有害物質の流入による水環境への影響など、様々な問題が顕在化しています。このような背景を踏まえ、琵琶湖・淀川の水環境の改善には、「水質」、「水辺の生物環境の保全・修復」、「外来魚防除」等が重要であることから、現在まで様々な団体が取り組みを進めています。本シンポジウムでは、これらの取り組みの成果と諸課題を各分野の専門家から報告していただき、琵琶湖・淀川の水が安全・安心であり続けるために、今後どのような取り組みが必要であるかを考えていくものです。

主催／琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、国土交通省近畿地方整備局、(財)琵琶湖・淀川水質保全機構

## 講演者プロフィール



**宗宮 功** (そうみやいさお) 龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科教授  
京都大学名誉教授

1938年 高知県生まれ。京都大学工学部衛生工学科卒業。同大学院工学研究科修士課程終了。同大学博士課程単位取得。工学博士。京都大学工学部衛生工学教室教授、同大学院教授を経て2002年退官。現在、龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科教授。専門は衛生工学。水道、下水道並びに水質汚濁に係わる水質計測、水質改善並びに制御に関する研究を進める。主な著書『オゾン利用水処理技術(編著1989, 公害対策同友会)』、『環境水質学(共著1999, コロナ)』など。滋賀県環境審議会会長、日本水環境学会顧問など。



**西野 麻知子** (にしのまちこ) 滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター総括研究員

奈良女子大学理学部卒業。京都大学大学院理学研究科修士課程、博士課程を経て1982年より滋賀県琵琶湖研究所(現、琵琶湖・環境科学研究センター)勤務。理学博士。専門は陸水動物学。琵琶湖の底生動物をつうじた琵琶湖の環境変化の研究や琵琶湖固有種の進化についての研究を行っている。また、琵琶湖周辺の湿地帯である内湖および流域の保全生物学的研究も行っている。主な著書『内湖からのメッセージ』(編著2005, サンライズ出版)、『水産海洋ハンドブック』(共著2004, 生物研究社)、『ユスリカの世界』(共著2001, 培風館)など。



**角野 康郎** (かどのやすろう) 神戸大学理学部生物学科教授

1952年 京都府生まれ。1975年京都大学理学部卒業。京都大学大学院理学研究科博士課程を経て、現在、神戸大学理学部生物学科教授。理学博士。専門は植物生態学(とくに水生植物の生態)、保全生態学。主な著書『日本水草図鑑』(1994, 文一総合出版)、『ウェットランドの自然』(1995, 保育社)、『水辺の環境保全—生物群集の視点から—』(分担執筆1998, 朝倉書店)、『外来種ハンドブック』(分担執筆2002, 地人書館)など。



**綾 史郎** (あやしろう) 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科教授

1949年 岡山県生まれ。1972年京都大学工学部土木工学科卒業。京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了。工学博士。京都大学助手、講師を経て1992年大阪工大助教授(土木工学科)。1998年より同大学教授(都市デザイン工学科)。専門は水圏環境学(河川工学、河川水理学、河川環境)。淀川のワンドなどを対象に工学的見地ばかりでなく、環境、生物、歴史など様々な切り口で河川を研究している。主な著書『開水路流れにおける流動と水質分散(数値流体力学)』(1992, 東京大学出版会)、『自然の浄化機能-強化と制御』(1994, 技報堂出版)など



**服部 和夫** (はっとりかずお) 大阪府水道部水質管理センター所長

1948年 三重県生まれ。1971年三重県立大学水産学部卒業後、大阪府水道部入庁、水質試験所配属。1982年から高度浄水処理施設技術開発に従事。1995年3月北海道大学工学博士取得。2003年大阪府水道部事業管理室課長補佐を経て、2005年より現職。



**河村 賢二** (かわむらけんじ) 国土交通省琵琶湖河川事務所長

1990年名古屋大学大学院工学研究科修士課程修了。同年建設省(現国土交通省)入省。兵庫県出向を経て、河川局治水課調査基準係長、建設経済局建設振興課建設振興第三係長、近畿地方建設局淀川工事事務所調査第一課長、同局企画部企画課長補佐、同企画課長、(財)国土技術研究センター上席主任研究員などを歴任。2004年より現職。現在、生態系に配慮した瀬田川洗堰の試行操作の指揮にあたるなど琵琶湖の環境改善に積極的に取り組む。



**田中 宏明** (たなかひろあき) 京都大学大学院工学研究科附属  
流域圏総合環境質研究センター教授

1956年 滋賀県生まれ。1978年京都大学工学部衛生工学科卒業。京都大学大学院工学研究科衛生工学専攻修了。カリフォルニア大学デービス校修士修了。工学博士。1980年建設省(現国土交通省)入省。1993年土木研究所水質研究室長、独立行政法人土木研究所水循環研究グループ上席研究員を経て2003年より現職。専門は環境工学、下水道、河川の水質モニタリング、評価、対策。主な著書『生態系にやさしい下水道をめざして』(共著2001, 技報堂出版)『水質衛生学』(共著1996, 技報堂出版)、『水質事故対策技術2001年版』(共著2001, 技報堂出版)など

(講演順に紹介)